

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【公開番号】特開 2018-141869 (P2018-141869A)

【公開日】平成 30 年 9 月 13 日 (2018.9.13)

【年通号数】公開・登録公報 2018-035

【出願番号】特願 2017-35816 (P2017-35816)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 9/09 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08

G 0 3 G 15/20 5 1 0

G 0 3 G 15/01 J

G 0 3 G 9/08 3 9 1

G 0 3 G 9/08 3 6 1

G 0 3 G 9/08 3 6 8

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 21 日 (2019.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

現像剤と、

潜像が形成される像担持体と、

前記像担持体上を帯電させる帯電部材と、

帯電された前記像担持体上に潜像を結像する露光部と、

前記現像剤を担持し、前記像担持体の前記潜像を現像して現像剤像とする現像剤担持体と、

前記現像剤像を、前記像担持体から、接着剤層が形成された記録媒体の、前記接着剤層の接着面に転写する転写部と、

前記現像剤像を定着する定着装置と

を有し、

前記現像剤の融点温度 ($T_{1/2}$) が、

129 . 6 $T_{1/2}$ 149 . 4

の範囲にあり、且つゲル分率が、

8 . 1 % ゲル分率 57 . 1 %

の範囲にある

ことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記現像剤は、蛍光着色剤又は蛍光増白剤を含有することを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

蛍光白現像剤の見かけ密度は、 $0.55 \sim 0.60 \text{ g/cm}^3$ であり、前記蛍光白現像剤を除く前記蛍光着色剤又は蛍光増白剤を含有する現像剤の見かけ密度は、 $0.34 \sim 0.36 \text{ g/cm}^3$ であることを特徴とする請求項 2 記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記蛍光白現像剤の着色剤は、酸化チタンと蛍光増白剤であることを特徴とする請求項 3 記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記転写部は、前記現像剤像を、前記現像剤担持体からベルト状の中間転写部材に一次転写し、更に前記中間転写部材から記録媒体に二次転写することを特徴とする請求項 1 から 4 までの何れか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記ゲル分率は、前記現像剤を THF 溶液に溶解させたときの可溶分から算出すること
を特徴とする請求項 1 から 5 までの何れか一項に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明による画像形成装置は、現像剤と、潜像が形成される像担持体と、前記像担持体上を帯電させる帯電部材と、帯電された前記像担持体上に潜像を結像する露光部と、前記現像剤を担持し、前記像担持体の前記潜像を現像して現像剤像とする現像剤担持体と、前記現像剤像を、前記像担持体から、接着剤層が形成された記録媒体の、前記接着剤層の接着面に転写する転写部と、前記現像剤像を定着する定着装置とを有し、

前記現像剤の融点温度 ($T_{1/2}$) が、 $129.6 \sim 149.4$
の範囲にあり、且つゲル分率が、 $8.1\% \sim 57.1\%$
の範囲にあることを特徴とする。